



Vol.113  
(2009.10)

# 学園便り

GAKUEN



**就 職** ..... 2 ~ 6

採用内定者の声  
就職支援室から学生・保護者の皆様へ

**留 学** ..... 7 ~ 9

異文化交流してみよう!  
留学・研修体験記

**ピア・サポート** ..... 10 ~ 11

他大学視察報告

**サークル紹介** ..... 12

**カウンセラー紹介** ..... 13

**トピックス** ..... 14 ~ 17

第47回北見工業大学大学祭 奨学・奨励賞授与式  
第41回道三大会、第56回地区大会、第45回柔剣道大会  
父母懇談会 新型インフルエンザ お知らせ 学事日程

# 採用内定者の声

昨今の厳しい就職状況の中で内定を得た学生6名から、これから本格的な就職活動が始まる後輩へ体験談とアドバイスをいただきましたので、是非、参考にしてください。

## 機械システム工学専攻（電気機械器具製造業 内定）

### ◆会社選びや選考で意識したことは？

自分が考え作ったものが、人々の生活を支えることのできるものづくりのできる会社を選びました。選考では、最初の失敗を活かして元気よくハキハキと話すようにしました。

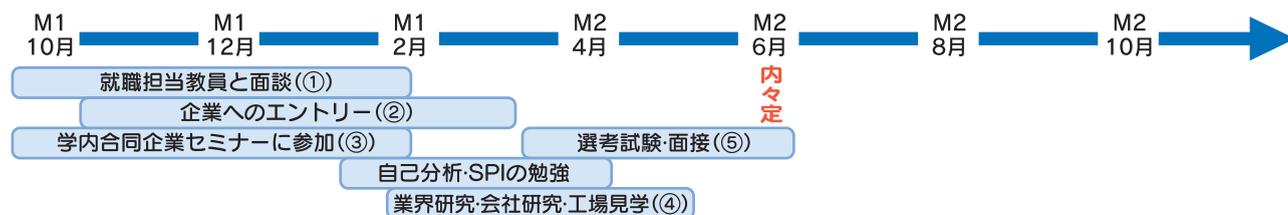
### ◆就活の失敗談を教えてください。

初めての面接では、緊張のあまり考えていたことがうまく言葉に出すことができませんでした。そのため、自分が会社に入って何をしたいかという強い意志を伝えることや元気よく話すことができませんでした。

### ◆後輩へのメッセージ

自分の入りたい企業のことをしっかりと調べ、そこに入りたいという強い意志をしっかりと自分の言葉で伝えることが大事です。あとは、先輩たちが残した就職活動の資料を見て、しっかりと試験対策をすれば大丈夫です。

## 就活スケジュール



### メモ

- ①就職担当教員に希望の会社や職種を伝え、それに合った会社を推薦してもらった。
- ②リクナビに登録し、興味のある企業にエントリー。
- ③多くのセミナーに参加。仕事内容等の説明を聞き、今後、何を行っていく必要があるのかを再確認できた。
- ④やりたいことを具体的に話せるよう、希望の会社について調べた。その他、同業種の会社と比較し、どういったところに魅力を感じるのかを調べた。
- ⑤自分の研究内容については自信を持って話せるようにする。就職資料室の先輩たちの資料を読み、試験内容を確認。



就職ガイダンス



面接対策講座



エントリーシート対策講座

## 採用内定者の声

### 電気電子工学専攻 (情報通信業 内定)

#### ◆会社選びや選考で意識したことは？

会社選びでは、希望する職種であるシステムエンジニアとして働ける会社を重点的に探しました。また、選考で意識した点は選考を受ける会社ごとにその会社が求めている人材像を意識した回答をできるように心がけていました。

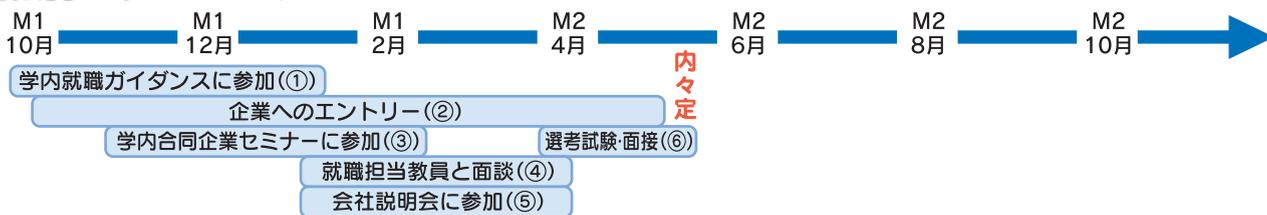
#### ◆就職活動の失敗談を教えてください。

面接を受けた段階で、自分がその会社に入ったときの具体的な姿を思い描けていないまま挑んでしまったこと。やはり、具体的な姿を思い描けている人との差が強くなってしまいました。

#### ◆後輩へのメッセージ

就職活動中は友人との協力は密にしたほうがいいのかと思います。お互いのエントリーシートのチェックや、面接の練習など出来ることをやりきって悔いの無い就職活動をしてください。

### 就活スケジュール



メモ

- ①就活マナーについて学ぶことが出来たのは有意義でした。また、エントリーシート書き方講座など、自信の無い人にはぜひオススメです。
  - ②リクナビやマイナビを使ってエントリー。定期的に学会の全国大会などがかぶり、その後の説明会や、1次試験などにいけなかったことも。
  - ③一番、身近な場所で様々な企業の方の説明を聞ける機会。有意義なことを聞くことが出来、その後の就職活動でかなり役立ちました。
  - ④推薦での募集がある企業一覧を見ながら、自分の希望する職種などと照らし合わせて、企業を紹介していただきました。
  - ⑤学校推薦の種類によっては説明会の無い企業もある。自由応募は説明会に出ないと以降の選考に参加できないことが多かったが、学会の準備などがあり多くは参加できなかった。
  - ⑥先輩の残してくれた就活メモを活用してどんな選考内容を把握したり、自己分析や企業研究を積極的に行っていた。面接は数をこなすうちに緊張の度合いも落ち着いていき自分の思うとおりの回答が出来るようになっていった。
- ・内々定 5社を受け、5月下旬に学校推薦の1社から内々定の連絡をもらい、就活が終わりました。

### 情報システム工学科 (通信業 内定)

#### ◆会社選びや選考で意識したことは？

大学で学んだことを生かすことができるような職種を考えました。就職担当教員など、学科教員の意見も大いに参考にし、情報通信業に進むことを決意しました。また、選考(面接やエントリーシート)で気を付けたことは、志望動機や卒業研究テーマについて、いかに相手に分かりやすく伝えるかという点です。研究室のメンバーとのディスカッションや、就職担当教員との模擬面接を通して身に付けることができました。

#### ◆就職活動の失敗談を教えてください。

反省すべき点は会社説明会などに積極的に参加することがなかった点です。早い段階で自己分析を行い、どんな職業に就きたいかを考える上でなるべく多くの説明会に参加すべきだと思いました。

#### ◆後輩へのメッセージ

自分の考えだけで行動せず、いろいろな人(先輩、就職担当教員、担任の先生など)にアドバイスをもらうことが大切です。就職支援室では、いろいろな情報を入手できるので、積極的に活用すると良いです。そして、何事もまず実行することが大切だと思います。

### 就活スケジュール



メモ

自己分析の実施が遅かったのが反省点です。就職担当教員との面談を早い時期から複数回行い、模擬面接も実施しました。幸いにも、1社目で内々定をいただくことができました。

# 採用内定者の声

## 化学システム工学科 (食品製造業 内定)

### ◆会社選びや選考で意識したことは？

私は地元志向が強かったので、札幌勤務、転勤なしという条件で会社選びをしました。また、エントリーシートや面接の際に、無理をして偽った自分で就職しても長く続けられないと思い、ありのままの自分を出すように心がけました。

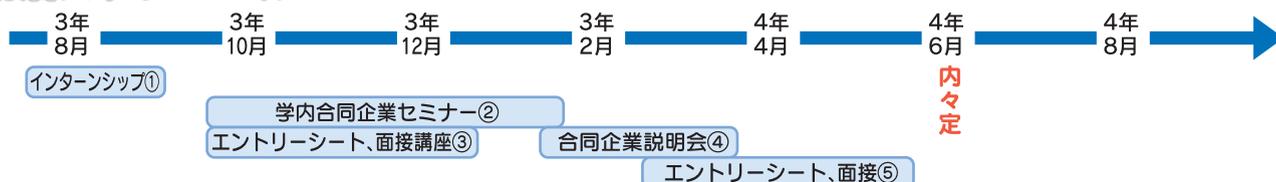
### ◆就活の失敗談を教えてください。

企業の情報不足で迷子になり、行けませんでした。また、面接の際に、他の会社に対する質問をしてしまったりしました。

### ◆後輩へのメッセージ

初めは、会社に対する明確な意識がなく、何をすれば良いのかわからないかもしれません。しかし、様々な業種の企業の説明会に行くことによって、自分がどのような職種に就きたいかが見えてくると思います。

## 就活スケジュール



### メモ

- ①初めて事務をやってみて、仕事の大変さがわかりました。
- ②自分の興味のある企業だけではなく、様々な職種を知ることができ、勉強になりました。
- ③自分の視点だけではなく、他人に添削されることにより、自分の足りない所がわかりました。
- ④各社のブースで詳しく説明を聞くことができ、とても有意義でした。また、他大学の人と話すことで、みんながどれだけ情報収集しているのかわかり、自分の就活への思いを奮い立たせることができました。
- ⑤最初のうちは緊張し、上手に自分を出すことができませんでしたが、回数を重ねるうちに、自分が伝えたいことを伝えることができるようになりました。

## 機能材料工学科 (輸送用機械器具製造業 内定)

### ◆会社選びや選考で意識したことは？

地元の企業を中心に選択しました。その中で一つの業種に拘らず、色々な業種の中から興味の湧く会社をピックアップしていきました。選考では、特に第一印象を良くすることを意識しました。

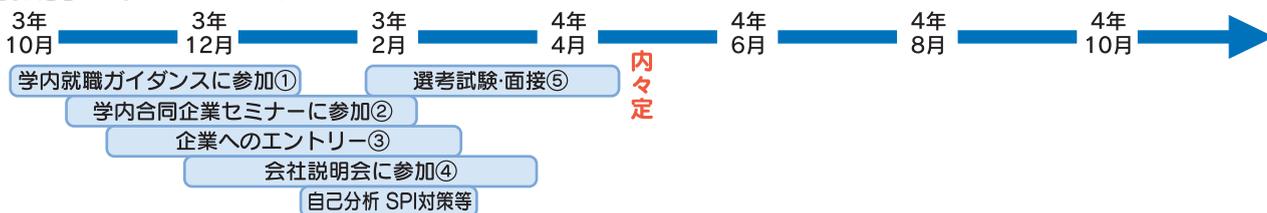
### ◆就活の失敗談を教えてください。

初めての選考で携帯のアラームを鳴らしてしまったことです。よくある話ですが、意外とやってしまうミスです。印象が悪くなる上、非常に恥ずかしいので、皆さんも気を付けてください。また、初めての面接に何の対策もせずに臨み、まともに答えられなかった覚えがあります。面接対策はしっかりと！

### ◆後輩へのメッセージ

昨今の不況により、就職戦線は大変厳しいものとなっておりますが、全く人を採らない訳ではありません。人間力の高い人は必ず内定をもらうことができます。学力や資格などは就職活動において大変有効なものですが、それだけでは内定を取ることはできません。大事なものは、面接等で聞かれた質問に対し、的を射た回答をするとか、身だしなみを整えているとか、そういう当たり前のことができる力、いわゆる人間力が大事だと私は思います。こういう厳しい状況だからこそ自分を高めるチャンスだと思います。

## 就活スケジュール



### メモ

- ①就活の心構えやエントリーシートの書き方などを知ることができ、非常に助かった。
  - ②先輩学生を多数採用している企業が参加するので非常に重要。多数採用していることもあり、人事の方も信用してくれているので、興味の湧いた企業には積極的にアピールしよう。ただし、節度をもって。
  - ③リクナビやマイナビを使って積極的にエントリーしよう。エントリーしないと会社説明会すら参加できないので、少しでも興味がある会社にはエントリーしよう。エントリーが遅いと説明会の席が満席になってしまい、意味がなくなってしまう。
  - ④大半の企業が説明会に参加しないと選考に出られないため、先に書いたエントリーが重要になってくる。日程や金銭面等で色々大変だが、なるべくたくさん参加しよう。その中で自分を高めることができる。
  - ⑤面接は、必ず対策を立てた上で臨もう。対策を立てずに臨んでもうまくいくことはまずない。また、SPIや一般常識もなるべく予習した上で臨もう。SPIも一般常識もそれほど難しいものではないが、見慣れない問題形式なので対策を立てずに受けると戸惑うことがある。
- ・内々定 10社選考を受けて4月後半に2社から内々定をもらう。そのうち1社が推薦状を出していた企業だったのでそちらに決定。

土木開発工学専攻 (建設業 内定)

◆会社選びや選考で意識したことは？

多くの意見を参考にすることを心がけました。自分が注目している企業について、友人・先輩・両親・先生から良い点・悪い点、それぞれ意見を集めました。これを繰り返すことによって、企業選びの共通点が徐々に明確になってきます。

◆就活の失敗談を教えてください。

エントリーシートの期限に間に合わなかったことです。会社説明会等が集中する一月までに書き始めないと大変です。平行して2社以上は受けることになると思いますが、会社ごとに期限が違うので、スケジュール帳等で計画的に完成させる必要があります。2つめはインターンシップに参加しなかったことです。そのため、エントリーが始まる10月までになかなか自分の行きたい方向が決められませんでした。時間に余裕があれば参加した方がいいと思います。

◆後輩へのメッセージ

人生は一度きりです。後悔しないように自分が受からないだろうと思う企業も恐れず受けてください。自分にとって就活は自己分析の繰り返しでした。この自己分析がなかなか難しく、一人で考えるだけでは上手くいきません。まずは行動して多くの人と出会ってください。その人と会って自分がどう感じたか、その人に何と言われたかをノートに書き出すことを習慣付けましょう。今まで気が付かなかった長所・短所が明確になってゆき、自分に自信が付いてきます。是非、悔いのないようチャレンジしてください。

就活スケジュール



メモ

- ①高校時代の思い出からさかのぼり、自己分析を始めました。合同企業セミナーまでには一度完成させたが、エントリーシートを書く前にもう一度行った。何度も繰り返すことによって、面接ではスムーズに自己アピールすることができるようになった。
- ②リクナビ、マイナビ等の就職検索サイトに登録した。最初は友人や先生方に聞いた企業に目をつけエントリーした。その中で大手は受からないと感じたので、エントリーしていなかった。その後、先輩の就職についての話を聞き、大手から受けていこうと考えるようになりエントリーした。
- ③建設業界の中で会社ごとにどのような違いがあるのかを見ました。院生になってから学会用の名刺を作っていたため、その後、企業の方と連絡を取れるようになりました。ある一社の総務部の方に気に入っていただき、最初の内々定を3月にいただけました。この企業セミナーはかなり有効

- だと感じました。
- ④選考には説明会参加が必須の企業もあり、とにかくやれるだけやろうという気持ちで合計8社を受けました。ノートは常に持参し、企業の特徴を比較しました。主に札幌でしたが、研究との両立は非常に大変でした。
  - ⑤札幌で行われた一日だけの見学会に参加。インターンシップに参加しなかったため、工事現場の生の声が、後の面接で役に立ちました。
- ・内々定 一社目は合同企業セミナーで説明を受けた会社で、3月の初めに内々定をいただきました。しかし、本命の会社の結果がまだ出ていなかったため、最終的な返事を待っていただくことにしました。その後、本命の会社が4月に内々定を出してくれたため、1週間少し迷いましたが、後悔の無いように本命の会社に決めました。

合同企業研究セミナー開催！

『北見工大の学生を採用したい』と今年度は160社を超える企業が集い、8日間にわたり大学内で業界・企業説明会を行います。

開催日程	第1回	平成21年11月7日(土)
	第2回	平成21年11月8日(日)
	第3回	平成21年11月28日(土)
	第4回	平成21年11月29日(日)
	第5回	平成21年12月12日(土)
	第6回	平成21年12月13日(日)
	第7回	平成22年2月6日(土)
	第8回	平成22年2月7日(日)

就職先が決まった先輩学生のうち、  
4割が合同企業研究セミナー参加企業に内定!!



## 就職支援室から

皆さんが日頃、就職活動について感じているだろう疑問点と、保護者の皆様へ向けたアドバイスを本学就職支援室室長に伺いました。

### ■新聞やテレビ報道等で「就職は厳しい」と言われていますが、実際のところはどのように感じていますか？

大卒の求人倍率(学生一人あたりの求人数)は民間会社の調査によると2009年3月卒から2010年3月卒にかけて2.14社から1.62社と確かに減っており、急激な回復も期待できません。しかし、いわゆる「就職氷河期」の時代には0.99社しかなかったことを考えると最悪の状況には至っておらず、むしろ採用企業は多いといえます。大手企業は狭き門となっていますが、中小規模ながら優良な製造業・情報通信業・建設業などには、本学学生が大学で学んだことを活かし力を発揮できれば、まだまだ十分なチャンスがあると言えるでしょう。

### ■4年生の就職内定率も下がってはいないですか？

確かに全体的には下がっているようですが、学科によっては既に90%を超えているところもありますので、3年生には決して就職活動を始める前から悲観的にならないようにして欲しいです。大切なことは早期から様々な業界や会社に目を向け、先程述べたように大手にこだわらずに自分に合う企業をじっくりと探すことだと思います。

### ■3年生は就職についてまだあまり知識がないと思います。北見工大の就職支援の体制について教えてください。

本学には各学科に就職担当教員がおり、就職希望の学生に個別の就職指導を行っています。就職担当教員は3年次の10月以降に決まりますので、自分の学科の就職担当教員が誰なのかを必ず確認してコミュニケーションを密にとることを指導しています。就職担当教員は卒業までの1年半、個別面談や就職相談、企業への推薦などを通じて学生がより良い就職ができるように支援しており、困ったことや悩みごとなどがあるときは気軽に相談できる体制となるよう心掛けています。

### ■就職支援行事はどのようなものがありますか？

10月以降、就職ガイダンスや合同企業研究セミナーなど、学内で就職関連行事を多数開催します。これらの学内行事でエントリーシート対策からマナー対策、面接対策まで、就職活動を行う上で重要なポイントを徹底指導します。合同企業研究セミナーは本学の就職行事の中で最も力を入れている行事で、先輩学生が多数在籍する会社や教員が選んだ優良企業など、全160社以上が本学の学生のために企業説明にやって来てくれます。学生はもちろん企業側にも大変好評な行事です。

### ■これから就職活動をはじめめる学生が気をつけなければいけないことは何ですか？

遅くとも年内には自分の適性や仕事を通じて将来何がしたいのかをしっかりと自己分析して、就職するべきか大学院に進学するべきかを真剣に考えて欲しいと思います。また、就職をするにしても進学をするにしても、合同企業研究セミナーにはぜひ積極的に参加することを期待しています。多くの会社を知ることでより広い視野で社会を見る力がつき、そのことがより適切な進路選択につながりますし、例年の学生の動向を見ていると、学内の行事に意欲的に参加をしている学生は早期に納得のいく会社から内定を得るなど、充実した就職活動を行っている傾向にあるからです。

## ◆保護者の皆様へ

就職活動はお子さんが社会人として「自立」するための大事なステップですので、手助けしてあげたいというお気持ちは当然のことと思いますが、その際、保護者の皆様にご心掛けて頂きたいことは、「後押しして見守る」という姿勢です。現在の就職活動は20年前とは比較にならないほど複雑で長期化しており、学生は非常に大きな不安とストレスを感じていることが少なくありません。そのため多くの学生は「就職活動に親の協力は必要」と感じています。しかしながら協力しているつもりで「そんな会社は知らない」「もっと安定した会社にしなさい」「お前には向いていない」などご自身の価値観だけを押しつけるのは逆効果となります。学生が必要とする「協力」は、社会人とは何か、仕事とは何か、など社会人の先輩としてご自身の経験をもとに実感していることを伝えて考えさせることや、批判や評価を下すことなく話を聴いて一緒に考えてあげることです。保護者だからこそできる協力でお薦めなのは「長所探し」です。自己発見の手助けをしながら会話を深め、お子さんの自立を応援していただければと思います。

就職支援室長 柴野純一(機械工学科 教授)

本学には、短期留学や短期研修といった制度があります。生の英語に触れてみたい…、異文化を体験してみたい…、英語力をつきたい…etc. 少しでも留学に興味のある方は、スタッフが詳しく説明しますので、国際交流センターに来てください。

## ◆短期留学について

本学が交流協定を締結し、学生交流を実施している大学への短期留学で、先方の大学に入学料・授業料を納める必要はありません。(本学には、留学中も通常通りの授業料を納めます)。対象は原則として3年次以上、行き先は以下の大学で、募集は毎年11月です。

- ・ **中 国**：武漢科技大学、ハルビン工程大学、東北電力大学、東北林業大学、北京化工大学
- ・ **韓 国**：江原大学校三陟キャンパス、嶺南大学校、慶尚大学校工科大学、昌原大学校
- ・ **モンゴル**：モンゴル科学技術大学
- ・ **台 湾**：勤益科技大学、中国医薬大学
- ・ **フィンランド**：オウル総合科学大学、ヴァーサ工業大学、タンペレ工業大学
- ・ **ポーランド**：クラクフ工業大学
- ・ **バングラデシュ**：ダッカ大学

## ◆短期研修について

夏休みや春休み中の研修で、語学学習を主目的としたものと、交流を主目的としたものがあります。所定の研修時間数を満たす語学研修は、現地の大学からの成績を考慮した上で、学部生は「異文化理解」、大学院生は「国際理解」の2単位が授与されます。

- ・ **慶尚大学（韓国）との交流研修**  
夏季休業を利用して交互に行き来しています。期間は1週間程度です。
- ・ **英語研修**  
夏季休業中の4週間の研修で、カナダのハンバー大学で実施しています。
- ・ **中国語研修**  
春季休業中の3週間の研修で、ハルビン工程大学にて実施しています。
- ・ **韓国語研修**  
夏季休業中の3週間の研修で、嶺南大学で実施しています。



過去の留学者及び研修参加者の体験記は『国際交流センターニュース』(本学HP上でも公開しています)をご覧ください。

## フィンランド・タンペレ工業大学短期留学体験記

土木開発工学科 4年 古賀 将之

僕は2008年8月から2009年2月まで、フィンランドのタンペレ工業大学に、交換留学生として留学しました。

北見工業大学に入学したときに渡された学生便覧の中にあつた、海外留学について説明されたページを見たのが留学に興味を持ったきっかけでした。本学の協定校は、20校ほどありましたが、漠然と欧米の大学に行ってみたいなあと考えていました。その中で、フィンランドの大学へは、本学から毎年学生が留学していて資料なども豊富にあつたので、タンペレ工業大学に留学することに決めました。

それまで海外旅行の経験も無く、初めての外国での

生活でした。留学中はルームシェアタイプのアパートに滞在しました。何度か引っ越しをしましたが、一緒に暮らしたのはカナダやパキスタン、香港、ハンガリー、ポーランド、スロバキアからの留学生でした。一緒に食事をしたり遊びに行ったりして、楽しく過ごしました。香港の友人とは、客船で丸1日かけてスウェーデンのストックホルムへ行くという、



ストックホルムの町並み

## 語学研修を終えて

今回の中国、ハルビン工程大学での短期語学研修は私にとって2回目の中国語研修でした。もう一度行こうと思った理由は、前回ハルビンで中国語を学び、日本に帰ってきてからも勉強し続けて来たので、自分の



正門

中国語がどの程度通じるようになったのかを確認し、中国語の会話を本場で楽しみたいと思ったからです。今回の研修で私が受けた授業は、中国語の授業を中国人の先生に中国語で習うというものでした。説明も全て中国語だっ

機械システム工学科 3年 藤井 勇貴

中国語がどの程度通じるようになったのかを確認し、中国語の会話を本場で楽しみたいと思ったからです。

今回の研修で

私が受けた授業は、中国語の授業を中国人の先生に中国語で習うというものでした。説明も全て中国語だっ



クラスメートと

## 語学研修を終えて

私は、2008年9月に1ヶ月間、カナダのトロントに語学研修に行ってきました。行こうと思ったきっかけは、



キャンパスにて

将来英語を使っていろいろな国を飛び回るような仕事に就きたいと思ったことです。

向こうでの授業は、ReadingとWritingで一つの授業、Speakingと

機械システム工学科 3年 斉藤 圭輔

Listeningで一つの授業となっていました。前者はともかく、後者の授業は大変苦労しました。英語の勉強を始めて約8年間、私は受験英語しか勉強しておらず、英会話は全く勉強していませんでした。そのため他の学生から話しかけられてもなかなか言葉が出てこなくて、とても劣等感を感じました。今までの英語の勉強の仕方は間違っていたと思いました。それからは英語学習の取り組み方を変え、会話を重視した勉強を行っています。

また、私はカナダでたくさんの友達ができました。韓国、台湾、ベトナムや中国などから来た留学生です。彼

タンペレ工業大学の学生委員会主催の旅行にも一緒に参加しました。

授業は留学生対象の授業を受講しました。それほど多くは履修しませんでした。授業は英語で進められ、



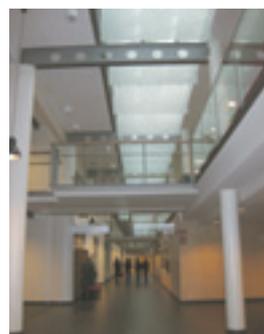
タンペレ工業大学校舎

毎回、ついて行くのに苦労したのを思い出します。学生はみな積極的で、非常に中身の濃い授業が受けられました。

本学に留学していたフィンランド

人の学生と再会することもできました。一緒にバーに飲みに出かけたり、公衆のサウナに連れて行ってもらったりしました。

僕の留学は6ヶ月間と短い期間でしたが、異文化の土地での生活や、異文化の人々との交流等、とても良い経験ができました。大変なことも多かったです。毎日が充実した日々で、かけがえのないものです。是非たくさんの学生に挑戦、経験して欲しいと思います。



タンペレ工業大学校舎内

たので、電子辞書片手にがんばって授業についていきました。私のクラスでは私たち日本人の他、韓国人・ロシア人・タイ人の人と一緒に授業を受けました。クラスメートとの会話はほとんど中国語。世界の共通語は英語という中で共通語を中国語として話すことはすごく面白く、英語が苦手な私にとってはラッキーな環境でした。多分中国人とより、クラスメートなどの留学生の方が会話は多かったと思います。

今回の語学研修では、私の中国語は、クラスメートとの会話では何とか会話が成り立ちましたが、現地の中

国人の方々と自在に会話が出来ているとは、まだまだ言えないレベルでした。いつか余裕を持って普通に中国語のおしゃべりが楽しめるよう、これからは勉強していきたいと思います。



食事風景

らの文化を学び、時には私たちの文化を伝えたりしました。こうして交流を深めているうちに、あっという間に時間が過ぎ、帰国の時が来てしまいました。彼らは私



クラスメートとの集合写真

にプレゼントとカードを用意してくれました。とても感動して、思わず泣いてしまいそうになったことを今でも覚えています。この語学研修を

通して、私は国際交流に強い関心を持つようになりました。そして2009年3月、今度は中国語の語学研修にも行ってきました。

この2回の語学研修は私の人生の中で最も大切なもののひとつとなりました。この素晴らしい体験をいつまでも忘れないようにしていきたいと思います。



修了式



平成19年10月からスタートした『ピア・サポート』活動。「ピア(peer)」は「仲間」、「サポート(support)」は「支える・援助する」の意味。つまり、『ピア・サポート』という言葉には「仲間を援助し、支える」との意味が込められています。今回、このピア・サポートについて勉強するため、本学ピア・サポーターが、積極的な活動を行っている他大学へ視察に行き、交流を図ってきました。

## 関東編

参加サポーター：尾崎実織(化学M-1) 竹内大仙(土開3年) 佐藤こずえ(バイオ環境2年)

今回私たちは、これまであまり周知がされておらず、活動も積極的には行われていなかったピアサポーターの活動を、拡大、本格化させるため、他大学のピアサポーター活動の視察をする機会をいただきました。

この視察は関東組、関西組の二手に分かれて行われ、私たち関東組は1泊2日の日程で学生3名と藤田副課長さんの計4名で、立教池袋中学校・高等学校と法政大学を訪問してきました。



### 立教池袋中学校・高等学校

☆担当の先生、高校生サポーター9名との交流を行いました。簡単な自己紹介後、はじめに私たちは、ピアサポート活動全体に関する質問事項を投げかけ、答えてもらうインタビュー形式で話しを伺いました。その後、二つのグループに別れて、ピアサポーター自身に関する内容を話し合いました。この学校では中学生と高校生が同じ校舎で学ぶという特徴から、高校生が中学生に勉強を教え、また相談にのるということを中心に、ピア活動の基本となる活動が行われていました。

### 法政大学

☆市ヶ谷キャンパスにおいて、支援課職員3名、ピアサポートプロジェクトメンバーの中から5名と交流を行いました。はじめに簡単な自己紹介を行い、その後私たちからの質問をもとにして話を伺いました。法政大学では学生支援GP採択にともない7プロジェクトが始動し、多くの学生スタッフが小さなものから、大きなプロジェクトまで、様々なものを支援課の協力を得て発案・企画し、実現していました。大学の規模もあり、そしてスタッフ一人ひとりのモチベーションの高さからか、規模の大きな活動が多く圧倒されるばかりでした。

## まとめ

この視察により私たちの大学のピアサポーターに足りないことが何かということ学ぶことができました。また、どんな些細なことでもピア活動につなげることができ、「こういうことをやりたい！」という一人の熱意から、大きなプロジェクトへと発展させられることがわかりました。私たちはこの視察で学んだことを今後の活動にいかしていきたいと思えます。

## 関西編

参加サポーター：巽和也(機材4年) 児玉智司(化学M-1) 太田真人(機械2年)

### 同志社大学

- S-cubeという学生支援課が展開する学生を支援するシステムがあり、その一部として『びあアドバイザー・びあメンター』が存在する。
- 『びあアドバイザー』はオリエンテーション期間に新入生からの疑問に応える道先案内人。主な活動としては、我々と同じように履修相談。大学の委託を受け相応の研修を受けた後に新入生などの履修登録をサポートする。その他に生活全般のアドバイスなども。  
→履修時期の半月前から研修を受ける。アドバイザー同士の交流のため、初めに顔合わせ合宿をする。支援課の一部となって働く。
- 『びあメンター』は、4年生・大学院生が先輩の立場から、自らの経験を踏まえて後輩の相談に応じる学生相談員。月～金曜日のうち、週3回程度で相談カウンターに待機。  
→「びあメンター ○○さん：海外留学について」12時～13時など予定表を作成し、学生にしっかり掲示する。



☆同志社大では学生支援課の組織の一部としてピア活動を行っていた。同志社大は我々とは異なり、学部も多数あり、二つのキャンパスに分かれていた。そのため、履修登録も複雑で学生が支援課の一部となって働けるよう、徹底した研修を受けていて大変そうだった。しかし、対談したメンバーは、少しでも新入生のサポートをしたいと思い、研修も真面目に取り組んでいると言っていた。メンバーの中には、実際にびあアドバイザーの熱心なサポートに心打たれ一員になったという人もいた。

## 名古屋大学

☆名古屋大も初めは新入生向けの相談サポートや履修相談(フレッシュマン応援DAY)がメイン。3年目でピア活動の本格化と自主的運営を展開→学生始動の活動。相談対象も名大生全体に拡大し、ロールプレイを中心に研修を強化。サポーター個人の相談体制を整えている。今年で6年目の活動となるが、「いかに認知度を高めるか」ということから「いかに相談に訪れてもらうか」に課題がシフトしている。北見工大ピアサポートも一歩ずつ活動を本格化していきたい。



## 三重大学

☆三重大では毎週火・金曜日の週2、昼と夕方各2時間ほどピアサポートルームを開放し、相談活動を行っている。今年で3年目となるが、活動当初より相談者は100人を越えている。主に4月の新入生の相談が多く、内容としては履修相談、サークル案内、学内施設案内などが多い。三重大のピアサポーターは相談活動以外に学生交流イベントの主催をしていて、『みんなでランチ・みんなでゲーム』と題して様々な学部・学年の人と食事やゲームを通じて交流を図っています。三重大ピア活動の印象といたしまして、学生同士の交流を大切に、ピアサポーターがイベントの参加者・仲介人となり住みやすい学校作りを目指しているようでした。新入生にとっては友達作りの場になり、その他の学生にとっても様々な交流の機会となり充実した学生生活をおくる上で縁の下の力持ちになっているのでしょう。

## 名古屋工業大学

☆名工大のピアサポーターは30名程度でその殆どが大学院生で構成されています。ほぼ全学科や他大学出身のメンバーがいます。活動としまして『先輩のいる学習室』があり、サポーターが常に一人以上待機している。前半(14時~16時)と後半(16時~18時)の2部態勢で平日は毎日活動している。

メインは学習相談(宿題・テスト対策・レポートのアドバイス)だが、履修、進路、就活など大学生生活上の悩み相談なども受け付けている。相談での対処法は学習面では、テストの過去問題は渡さない。なるべく自分の力で解決させる。わからない問題でも対話して気付かせるよう試みる。生活面では、最終的には先生やカウンセラーの方を紹介する。

この制度を始めた2006年度から毎年300件を超える相談件数があり驚かされました。またPR方法も一風変わっていて、のぼりやポスターなどで紹介しています。

同じ工業大学のピア活動の先輩である名工大では抱える悩みも同じようなもので、研究や実験などで時間がとれないなか、活動時間内でとても内容のつまった活動をしている印象がありました。

### まとめ

今回の視察で、4大学のピアサポーターの方々や先生たちと交流しました。それぞれの大学では、その地の学生が必要とする様々なピア活動の形態があり、多くのことを学ばせていただきました。現在、北見工大のピアが抱える悩みと同じ苦しみに耐え、越えてきた先輩たちと交流することで活動に対する前向きな姿勢を保つことが出来ました。今はまだ不安定な北見工大のピアですが、これから少しずつ活動を本格化できるよう頑張っていきたいと思えます。今回の視察に協力して下さった学生支援課の方々、山田先生、そして、同志社大学、名古屋大学、三重大学、名古屋工業大学の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

## Historical Simulation研究会

私達HS研ことHistorical Simulation研究会はTRPGやボードゲーム、カードゲームなどを主に活動内容としています。カードゲームは割となじみの多い方もいると思います。

HS研では遊戯王が主に流行っています。そして先ほど出たTRPGって何?と思う方も多いかと思います。RPGは皆さん良く耳にするかと思いますが。では「T」とは何の略かといいますと、「テーブルトーク」という言葉の略になります。TRPGって何?とはつまり、テーブルトークRPGということになります。とは言っても「何をするか具体的に分からないよ!」という方もいるでしょう。簡単に言うとRPGのようなゲームを何人かで集まりテーブルを囲み、会話でゲームを進めていくことです。これが「テーブルトークRPG」という言葉の語源にも繋がっていきます。TRPGではゲームマスターと呼ばれるゲームを管理する人が1人、プレイヤーと呼ばれるゲームを攻略していく人が2~4人という構成で進めます。

私達HS研では夏季休業時、市民会館を借り地域の方を招きTRPGのコンベンションを開催しています。札幌などからはるばる参加して下さる方もしばしばいます。TRPG自体流行っていたのは大分前のことですが未だに多くのファンがいることを実感します。

もし、私達の活動に興味のある人は毎週金曜に大学会館の第2会館で例会を行っているのでそちらに顔を出していただくか、HS研のホームページの掲示板にてお聞きください。ホームページは検索ワードに「北見工大」、「HS研」と入力していただければ出るかと思います。是非、お気軽にお越しください。



## ヨット部

ヨットとは帆(セイル)を張って風の力を利用して水の上を走ることができる乗り物です。

その中でも私達は全長5m程度の470(ヨンナナマル)級という二人乗りのヨットに乗っています。ヨットは他の船と順位を争うレーシングスポーツです。ですが体力勝負というわけではありません。風の変化や他の船の位置関係から戦略を立てる非常に戦略性の強いスポーツです。体力と知力の両方をフルに使います。



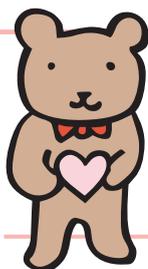
ヨットなんて聞くとよくわからないと思いますが大丈夫。ほとんどの人は大学からヨットを始めています。先輩達が基本からやさしく教えてくれます。

ヨット部はとてもアットホームな雰囲気です。先輩後輩同士がとても仲がよいです。みんなで料理したり温泉に入ったりと大家族気分が味わえます。

さらにはOBの方や社会人の方々との交流も盛んで貴重な社会経験を得ることもできます。

せっかくの大学生活、何か一生に残る思い出を作りませんか?





4月から学生相談室に2名の新しいカウンセラーが在室することになりました。カウンセラーは皆さんの大学生活が少しでも充実したものになるよう、心の健康をサポートしています。悩みや不安があるとき、ただ話を聞いてほしいとき、どんなときでも構いません。相談室のドアをたたいてみてください。

## 学生から若さと元気を！

この春より、学生相談室で相談の任にあたらせていただいています中野武房なかの たけふさです。前任は、北海商科大学で高校教師を目指す教職課程の学生に教育心理学、臨床教育学(カウンセリング)、教育実習等の科目を指導していました。

退職後、北見の地に戻って晴耕雨読の生活の傍ら、生涯のワークをと願っていたカウンセラーの役割を得て、カウンセリングに関する実践・研究・研修の機会を与えていただいている北見工業大学に深く感謝しています。

カウンセリングへの導きは、高校教師時代に出会った、今で言う、不登校生徒との出会いでした。両親は教育に理解があつて教育熱心、その子どもも、それなりの学業成績をおさめ、性格も明るく、どちらかという模範的な生徒でした。その子がある日から突然登校しなくなったのです。その生徒への対応に悩み、文献を読み漁り、道立教育研究所で研修を受け、ついには研究員となって研究・研修・相談に預かるようになりました。今から約30年以上も前のことでした。

北見工大では、カウンセラーとしての勤務の前に、「ピア・サポート活動」を通じて学生、教職員とのつながりをいただいていた。ピア・サポート活動とは、学生同士が互いに支え、助け合うことができるように援助する活動です。そのためのトレーニングを行い、将来社会に有意な人材として生きることができる人間を育てることです。現在、20数名のピア・サポーターがいますが、この学生の活動の場も広げ、やりがいのある、充実したピア・サポート活動ができるように少しでも役立つように努めたいとも思っています。

若い学生との出会いを通じ、若さと元気を分けていただいています。学生、教職員の方々にこれからもどうぞ、よろしくお願ひいたします。



学生相談室カウンセラー  
中野 武房



非常勤カウンセラー  
瀬戸 美奈子

こんにちは。今年度、学生相談室のカウンセラーをしています瀬戸美奈子です。出身は九州の佐賀県で、茨城、栃木を経て、七年前に北見にやってきました。最初は北海道の文化に驚くことばかりでしたが、いまやすっかりなじんで北海道弁も板についてきた感じです。

週に2日学生相談室に来ていますので、大学生活の中で進路や友達のことや家族のことなど、何か困った時、体調に関する心配がある時など、気軽にお話にきてください。話してみたら気持ちがすっきりすることがあったり、一緒に考えることでいい方向が見つかったりするかもしれません。話すことで自分を振り返ったり、新しい視点でものごとをみるきっかけになるのでは、と思います。

学生相談の日以外は、中学校でスクールカウンセラーをしています。中学生はいろいろ壁にぶつかる時期ですが、周りのサポートを受けながら、3年間で成長していく姿を見ると、悩むのも成長のための一つのステップだと実感しています。悩むことができるのは成長できるエネルギーがある証拠ではないでしょうか。

家庭では一児の母で、子育てに奮闘中です。趣味はたくさんありますが、映画や演劇の舞台を見るのが好きです。最近は、そこにアメリカのテレビドラマを見ることも加わりました。中学生と話すことが多いので、テレビドラマもマンガもアニメもジャニーズもファンタジーも大好きです。

こんな私ですが、みなさんが充実した大学生活を送るためのサポートを少しでもできれば嬉しく思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 第47回 北見工業大学大学祭 日時 平成21年6月20日(土)、21日(日) テーマ “そだ学祭に行こう”

2日間とも天候に恵まれ、大勢の市民に会場に来ていただくことができ、大いに盛り上がりが見られました。20日には父母懇談会(北見会場)が行われ、大学祭に足を運んだ父母の姿も見かけられました。

### ステージ企画

- ・グリーンコンサート(吹奏楽)・軽音楽部LIVE・よさこい薄荷童子
- ・のど自慢・障害物競走(早食い・早飲み)・女装コンテスト
- ・絵心クイズ・DANCE (blast drop)・ビンゴ大会



### 各種イベント

- ・奨学・奨励賞授与式、24時間たすきリレー、研究室公開
- ・FC(燃料電池)カート試乗会

### 【24時間たすきリレー】

第6回24時間たすきリレーが19日(金)、20日(土)に本学陸上競技場で行われました。今年は874周(349.6km)と昨年より35周ほど記録を伸ばすことができました。

参加人数は129名(一般参加者104名、陸上部25名)で、最も多く周回したのは陸上競技部 岩淵 駿君で80周(32.0km)でした。

### 【研究室公開】

普段、学外の方が目にする機会の少ない、本学で行われている研究の内容をやさしく楽しく紹介するものです。

10のテーマが設定され、参加者は自由に研究室を訪れ見学しました。

テーマは以下のとおりです。

- ・QVICで超立体視
- ・ロボコンデモンストレーション及び操縦体験
- ・波と地球自転による力
- ・落雷から電気機器を守る
- ・画像で見る私たちの“からだ”の形と機能
- ・光学ワンダーランド
- ・甘〜い研究 ー糖を見分ける賢い分子たちー
- ・リモネンで発泡スチロールを溶かそう!
- ・環境にやさしい材料化学
- ・クリーンなエネルギーを学んで、化学で遊ぼう!



## 平成20年度 奨学・奨励賞授与式

学業の奨励を目的に設けられた奨学・奨励賞授与式が6月20日(土)、大学祭のプログラムの一つとして行われ、学業成績・人物ともに優れた学部及び大学院の学生27名が受賞しました。

授賞式では特設ステージを会場に多くの来場者が見守る中、鮎田学長から賞状と副賞が一人ひとりに授与されました。受賞者は以下のとおりです。



学	学 科	1年次	
	部	機械・社会環境系	川原 敬 裕
赤 木 洋 介			高 畠 遼 介
情報電気エレクトロニクス系		佐 藤 こずえ	梶 原 奈 々
		学 科	2年次
部	機械システム工学科	新 海 辰 也	渡 部 佑 貴
	電気電子工学科	田 中 英 一	山 崎 桂 輔
	情報システム工学科	村 上 優 太	山 村 英 慶
	化学システム工学科	忽滑谷 聰 将	小 林 優 太
	機能材料工学科	安 部 拓 哉	安 藤 雅 郎
	土木開発工学科	長 野 耕 佑	安 藝 朋 子

大学院博士前期課程	専 攻	1年次	
	大学院博士後期課程	機械システム工学専攻	清 谷 真 平
電気電子工学専攻		矢 澤 和 樹	
情報システム工学専攻		吉野谷 侑 樹	
化学システム工学専攻		該当者なし	
機能材料工学専攻		榎 本 洋 一	
土木開発工学専攻		河 野 勝 宣	
専 攻	1年次	2年次	
システム工学専攻	吉 川 泰 弘	富 山 和 也	
	物質工学専攻	該当者なし	白 俊 玲

## 第41回道三大大会、第56回地区大会、第45回柔剣道大会

### 第41回東北海道国立三大学体育大会

5月30日(土)、31日(日)の両日、北海道教育大学釧路校を会場に東北海道国立三大学体育大会(通称「道三」)が開催されました。

「道三」は道東に立地する本学、北海道教育大学釧路校、帯広畜産大学の国立三大学の間で毎年実施されています。

当日は、気温も低く天候は雨模様でしたが各競技で熱戦が繰り広げられました。

●**総合成績** 優勝 北見工業大学 2位 帯広畜産大学 3位 北海道教育大学釧路校



### 第56回北海道地区大学体育大会

第56回北海道地区大学体育大会が下記の日程により、旭川医科大学が当番大学となって実施されました。本学の成績は、以下のとおりです。

日 程 7月3日(金)～8月9日(日)

総合成績	11位(32大学中)	バスケットボール	1回戦敗退	柔道	予選リーグ敗退
陸上競技	17位(21大学中)	サッカー	1回戦敗退	剣道	3位
硬式野球	ベスト8進出	バドミントン	1回戦敗退	弓道	準優勝(16大学中)

### 第45回全国国立工業大学柔剣道大会

第45回全国国立工業大学柔剣道大会が下記の日程により、京都芸繊維大学が当番大学となって開催されました。柔道は個人戦だけの参加となりましたが健闘しました。

日 程 8月23日(日)

柔道個人戦(男子) 第3位 酒井 心平



## 平成21年度父母懇談会(春季・北見、秋季・札幌)

父母懇談会は、平成8年度から保護者(父母)に対する大学からのメッセージの発信、父母からの修学・進学・就職相談などを主な目的として実施されています。

開始当初は、札幌、北見の2カ所で開催していましたが、平成16年の法人化以降道外地区でも実施してきています。特に道外の会場にはその地区の本学同窓会役員などの協力を得て、最近の就職情報を伝えていただき、大変好評を得ています。

今回は春季・北見、秋季・札幌の2カ所(今年度は秋季の北見地区、名古屋地区を含め4回実施)の実施概要を報告します。

#### 【北 見】

平成21年6月20日(土)本学C122講義室を全体説明会の会場として、146組196名の父母が参加し実施されました。全体説明会において、鮎田学長、田牧副学長からの説明の後、学生後援会長から、後援会の活動状況が報告されました。その後、各学科・専攻に分かれた個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは修学状況、就職問題等について質問が出され熱心にやりとりが交わされました。

3年連続で大学祭の開催と併せて開催しました。また、全体説明会会場入口で大学認定商品「雪まりも」の他大学関連グッズの販売を行い、いずれも父母からは大変好評を得ました。



全体説明会の様子(北見会場)

#### 【札 幌】

平成21年9月26日(土)北海道大学学術交流会館を会場として、111組142名の父母が参加し実施されました。全体説明会において、田牧副学長からの説明の後、学生後援会長から、後援会の活動状況が報告されました。

全体説明会の後、個別面談までの待ち時間には、副学長により、父母との質疑応答の時間が設けられ、修学に関する内容や学生をとりまく生活環境への質問や、学生が就職活動を行う上での基本事項や情報収集等、活発な質疑応答が行われました。



個別面談の様子(札幌会場)

## 新型インフルエンザ（A型豚由来H1N1）について

### ◆はじめに

新型インフルエンザについては、皆さん報道等でよく認識されていることと思いますが、これまでの知見と予防対策等についてまとめてみます。

まず、今回の新型インフルエンザと従来の季節性インフルエンザの違いについて次の表に示します。

	季節性インフルエンザ	今回の新型インフルエンザ(H1N1)
周 期	毎冬	10～40年に1回
ウィルス型	A型(H1、H3)、B型、C型 免疫あり	ブタ由来のA型(H1N1) 人類の多数が経験せず、免疫なし
症 状	突然の38℃以上の発熱 咳、くしゃみ等の呼吸器症状 頭痛、関節痛、全身倦怠感 等	突然の38℃以上の発熱 咳、くしゃみ等の呼吸器症状 頭痛、関節痛、全身倦怠感、下痢 等
潜 伏 期 間	2～5日	1～7日

### ◆「予防策」と「感染したときの対応」について

「新型インフルエンザを含むA型インフルエンザ」は、今後、急速に感染拡大する可能性が高いと予想されています。

そのため、皆さんには、感染拡大防止のため、自宅や大学内において、次のとおり行動してください。

#### 1. 感染の予防策

自宅や大学では、状況に応じて「手洗い」「うがい」をするようにしましょう。  
高熱（38度以上）や咳などの症状が認められたときは、外出を自粛しましょう。  
やむを得ず外出するときは、「マスク」の着用や、咳エチケット（咳の際にハンカチや袖で覆う）を心がけましょう。

#### 2. 医療機関への受診

高熱（38度以上）、咳などインフルエンザ様症状が認められた場合には、最寄りの医療機関に、必ず事前に電話により受診時間、受診方法等を確認のうえ、速やかに受診してください。  
また、受診に際しては、感染の拡大防止のため「マスク」を着用しましょう。

#### 3. 感染の報告

医療機関で「A型インフルエンザ」又は「新型インフルエンザ」と診断された場合には、速やかに学生支援課（留学生は国際交流センター）へ連絡してください。

#### 4. 回復までの自宅待機

「A型インフルエンザ」又は「新型インフルエンザ」と診断された場合には医師の指示に基づき、高熱や咳等の症状の回復後も2日間は自宅で療養するなど、自宅待機をしてください。

#### 5. ホームページ等の確認

新型インフルエンザに関する情報は、随時、本学ホームページや掲示等でお知らせしますので、各自確認するとともに、テレビ、新聞等の報道に留意してください。

保健管理センター所長 本 田 明

#### 学内連絡先

学生支援課生活支援担当 ☎(0157)26-9183  
国際交流センター ☎(0157)26-9370

#### 相談窓口

受診医療機関がわからない場合は・・・  
北見保健所保健推進課 ☎(0157)24-4173  
(受付時間 平日8:45～17:45)

## 学事日程(後期)

### 2009年

#### 10月

- 1日(木) 後期授業開始
- 1日(木) 秋季入学式

#### 11月

- 11日(水) 月曜日授業振替

#### 12月

- 4日(金) 休講 推薦入学試験(予定)
- 21日(月)～1月4日(月) 冬季休業日
- 21日(月)～25日(金) 4年次再試験(卒業予定者)

### 2010年

#### 1月

- 5日(火)～8日(金) 集中講義期間
- 15日(金) 休講 大学入試センター試験準備
- 16日(土)～17日(日) 大学入試センター試験
- 21日(木) 月曜日授業振替

#### 2月

- 15日(月)～23日(火) 後期定期試験(卒業研究審査を含む)
- 24日(水)～3月31日(水) 学年末休業日

#### 3月

- 12日(金) 後期日程入学試験
- 18日(木) 学位記授与式

## お知らせ

### 【授業料免除等について】

授業料免除及び徴収猶予については、各期ごとの申請が必要となります。

免除申請の主なスケジュールは次のとおりとなりますが、詳細についてはその都度、学内掲示及び本学ホームページでお知らせします。

申請を希望する方は定期的に掲示等で確認するようにしましょう。

	書類の交付	申請受付	免除の決定
前期	2月上旬～	2月中旬～	5月中旬
後期	7月上旬～	7月中旬～	11月中旬

### 【日本学生支援機構奨学金について】

11月以降、奨学金の継続手続きや返還に関する手続きが始まります。

手続きの詳細については、学内掲示にてお知らせしますので、現在、奨学金の貸与を受けている方は、必ず掲示を確認し、所定の期日までに手続きをしてください。



### 編集後記

早いもので、今年も残すところわずかとなりました。

今年入学した1年次の皆さんは、大学生活にもだいぶ慣れてきたでしょうか。これから迎える北見の冬。雪はそれほど多くはありません(数年前に100年に一度と言われた大雪がありました)が、寒くて、下手すると水道管を凍らせてしまうことも…。こんなことを書くと「えーっ!!」と不安にさせてしまいますね。すみません。でも、そんな北見の冬も楽しいことがたくさんあるのですよ。スキーにスノーボー、温泉も近場にあり、寒い冬に友達と鍋をするのもいいですね。

少々長い冬ですが、食事と睡眠はしっかりと取り、流行真っ直中のインフルエンザなんかには負けず、北見の冬を満喫しましょうね。

平成21年10月発行

北見工業大学「学園便り」編集委員

林田 和宏 (機 械 工 学 科)

中山 恵介 (社会環境工学科)

山岸 喬 (国際交流センター)

ご意見・ご感想、掲載して欲しい記事、  
イラスト・写真等を募集しています。

E-mail : [gakusei03@desk.kitami-it.ac.jp](mailto:gakusei03@desk.kitami-it.ac.jp)  
(学生支援課)

下記URLにて「学園便り」のバックナンバー(VOL.89～)がご覧になれます。  
[http://www.kitami-it.ac.jp/students\\_info/life/dayori.html](http://www.kitami-it.ac.jp/students_info/life/dayori.html)

●●● 学生支援課は 『あなた!』 を支援します。 ●●●